

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	(公下)一般業務	会計名称	公共下水道特別会計		担当課	下水道課		
		予算科目	1 款 1 項 3 目	事業番号	9410	所属長名	角田 栄治	
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	岡本 千明		
法令根拠等	下水道法、伊予市条例				実施期間	【開始】	平成 17 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造					【終了】	平成	年度(予定)
	潤いのある水環境づくり						☒ 設定なし	
総合計画における本事業の役割	子どもからお年寄りまでが快適に生活できる環境を構築							
事業の対象	公共下水道処理区域			事業の目的	下水道事業（下水道排水設備等）の円滑な事務を行う。			
事業の内容（整備内容）	下水道事業受益者負担金の賦課・徴収、下水道使用料の徴収委託事務。			評価事業としないこととした理由	経常的な事務経費のため評価する事業に値しないため。			

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項 目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項 目	単位	27 年度実績	28 年度予定	9月末の実績	28 年度実績
財源内訳	直接事業費	17,107	28,231	0	0	0	22,489	受益者負担金前納報奨金	千円	1316	1800	0	945
	国庫支出金		0	0	0	0	0						
	県支出金		0	0	0	0	0						
	地方債		0	0	0	0	0						
	その他	17,107	28,231	0	0	0	22,489						
	一般財源	0	0	0	0	0	0						
職員の人工（にんく）数		1.70	1.60				1.60	下水道使用料徴収委託料	千円	10326	12272	0	12115
1人工当たりの人件費単価		8,042	8,086				8,086						
※ 直接事業費＋人件費		30,778	41,169				35,427						
主な実施主体		水道課ほか		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		委託料（16,435千円）		水洗便所改造資金利子補給	千円	12	97	2	6
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）						29 年度		30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	5年間の合計	
						36,850		35,000	28,000	28,000	28,000	155,850	

事務事業評価（CHECK）

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	コンビニエンスストアで支払いができる納付書にしたため、いつでも納付できるようになった。		
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由	公共下水道事業の経常的な事務経費のため。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	